

News Release

平成 23 年 3 月 28 日

株式会社日本政策投資銀行

代表取締役社長 室伏 稔

京セミ（株）に対し、 「DBJものづくりニッチトッププログラム」に 基づく融資を実施 —球状太陽電池の事業化を支援—

株式会社日本政策投資銀行（社長：室伏稔、以下「DBJ」という。）は、京セミ株式会社（本社：京都市、代表取締役社長：中田仗祐、以下「当社」という。）に対し、「DBJものづくりニッチトッププログラム」に基づく融資を実施しました。

「DBJものづくりニッチトッププログラム」は、「DBJ成長支援プログラム（日本元気プログラム）」に基づくDBJ独自の融資メニューです。製造業においてお客様が行う成長基盤強化の取り組みを支援するため、その必要な資金を融資するもので、成長が期待できるニッチ市場においてトップシェアを有するまたはトップシェアを目指すお客様が行う中長期的な成長性や新規性が認められる事業を対象としております。

当社は、先端産業の発展を光技術で支える研究開発型企业として、「光半導体デバイス」と「太陽光発電」の分野で事業を展開しています。高品質かつ高信頼を有する当社製品は、一部がトップクラスのシェアを有する等、顧客の高い評価を得ており、光通信設備のほか、紙幣識別用センサや火災報知機用の煙センサ等、社会基盤を支える機器において重要な役割を果たしております。

本件は、当社恵庭事業所における球状太陽電池の量産設備導入を、成長が期待できる市場においてトップシェアを目指す事業と認定し「DBJものづくりニッチトッププログラム」に基づく融資を実施したものです。クリーンエネルギーである太陽電池の市場拡大が予測されるなか、当社が独自開発した球状太陽電池は、あらゆる方向から入射する光を利用する極めて高効率な発電を実現しており、また、ガラスや樹脂に封入し湾曲可能なモジュールを製作することで、建材用ガラスや自動車のボディ等、様々な分野での活用が可能であり、高い注目を集めております。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～私たちは創造的金融活動による課題解決で、お客さまの信頼を築き、豊かな未来を、ともに実現していきます～」に基づき、今後のデフレ脱却と経済成長に資する事業を積極的に支援してまいります。

【お問い合わせ先】

北海道支店 業務第一課 電話番号 011-241-4545